



UBE ビエンナーレ × AIR ネットワーク研究会

# ARTIST IN RESIDENCE

アーティスト・イン・レジデンス シンポジウム

# SYMPOSIUM

住む・作る・学ぶ アートが育む宇部の未来

2019 / 3 / 17 (日)

- 主催：宇部市
- 協力：女子美術大学、AIR ネットワークジャパン  
文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業
- 時間：14：30～17：00（受付 14：00～）
- 会場：ときわ湖水ホール（山口県宇部市 ときわ公園内）
- ※参加無料
- ※事前申込不要（13時からのワークショップは要事前申込）

Guest  
talker

- 柳沢秀行（大原美術館学芸課長）
- 稲庭彩和子（東京都美術館学芸員）
- 藤原徹平（建築家、横浜国立大学准教授）
- 豊福亮（現代美術家、第28回 UBE ビエンナーレ AIR 招へい作家）
- 久保田后子（宇部市 緑と花と彫刻の博物館館長）
- 日沼禎子（女子美術大学教授、宇部市緑と花と彫刻の博物館アートディレクター）

## UBE BIENNALE

UBE International Sculpture Competition



# ARTIST IN RESIDENCE SYMPOSIUM

アーティスト・イン・レジデンス シンポジウム

世界で最も歴史のある野外彫刻の国際コンクール「UBE ビエンナーレ（現代日本彫刻展）」、パブリック・アート発祥の地としても知られる宇部市において、2018年より新たな取り組みとしてアーティスト・イン・レジデンス事業（AIR）がスタートしました。近年、さらなる広がりを見せる国際芸術祭や AIR におけるアーティストのリサーチ、表現活動は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業、食文化に至るまでの多様な分野と結びつくとを可能にし、新たな創造による地域文化発信のプラットフォームと多様な試みの実験の場として期待されています。この度のシンポジウム「住む・作る・学ぶ アートが育む宇部の未来」では、こうした活動を持続的に展開、発展させるためのキュレーター、アート・マネジャー、プロデューサーなどに求められる人材、育成のあり方について議論し、課題の共有と検証を試みます。

2019 / 3 / 17 (日)

## 住む・作る・学ぶ アートが育む宇部の未来

### 展示 UBE ビエンナーレ アーティスト・イン・レジデンスのドキュメント展示

2018年に実施したアーティスト・イン・レジデンスの3つのプログラムを写真やパネルで紹介します。

#### ワークショップ 「宇部パラレル My MAP」をつくろう！

- 13:00 私の街に、こんなお店があったら嬉しいな。ときわ公園にあんな遊具があったら楽しいな。UBE ビエンナーレ AIR 作家の豊福さんと一緒に、宇部の街や公園を舞台とした空想の地図を考えよう。夢と現実が迷路のように重なり合った、オリジナルのパラレル MyMAP をつくってみよう！
- 参加費：無料
  - 定員：20名（要事前申込・先着順）
- 14:00 ■ 申込方法：電子申請又は電話にてお申し込みください。

電子申請 QRコード



### シンポジウム 住む・作る・学ぶ アートが育む宇部の未来

新たな手法で展示会に取り組み美術館から多彩なゲストをお迎えし、美術館における芸術教育やアーティストとの共同による先駆的事例を発表いただき、アートを活用した様々な文化事業について展開を探ります。

#### 14:30 ケーススタディ

ミュージアム × アーティスト × エデュケーション × 地域

柳沢秀行（大原美術館学芸課長）

15:15 ■ 稲庭彩和子（東京都美術館学芸員）

#### 15:30 トークセッション

柳沢秀行（大原美術館学芸課長）  
 稲庭彩和子（東京都美術館学芸員）  
 藤原徹平（建築家、横浜国立大学准教授）、  
 豊福亮（現代美術家、第28回 UBE ビエンナーレ AIR 招へい作家）  
 久保田后子（宇部市 緑と花と彫刻の博物館館長）  
 モデレーター 日沼禎子（女子美術大学教授、宇部市緑と花と彫刻の博物館アートディレクター）

#### Guest talker / ケーススタディ



柳沢秀行  
（大原美術館学芸課長）



ARKO（アーティスト・イン・レジデンス・倉敷・大原）久松知子「物語と距離（2018、夏、倉敷）」制作風景



稲庭彩和子  
（東京都美術館学芸員）



学校連携プログラム「スペシャル・マンデー」アート・コミュニケータが児童とグループになって作品を鑑賞する様子

#### Guest talker / トークセッション



藤原徹平  
（建築家、  
横浜国立大学准教授）



豊福亮  
（現代美術家、  
第28回 UBE ビエンナーレ  
AIR 招へい作家）



久保田后子  
（宇部市 緑と花と彫刻の  
博物館館長）



日沼禎子  
（女子美術大学教授、  
宇部市緑と花と彫刻の博物館  
アートディレクター）

### UBE ビエンナーレ AIR 部門について

今後の活躍が期待される若手から、国内外で注目される優れたアーティストを対象としたアーティスト・イン・レジデンス部門を新設しました。滞在制作および成果発表の支援を行うとともに、市民との多様な交流の場を設け、作り手であるアーティストや芸術に関わる人材を育成しながら、本市がめざすアートによるまちづくりを進めていきます。

#### ■ 2018年度招へいアーティスト

豊福亮  
UBE ラビリンス

Elena Redaelli  
PARTICIPATORY TEXTILE  
NORI MONOGATARI  
（みんなの織物）

葛谷春光堂  
日常劇場  
All the world's a stage



### アーティスト・イン・レジデンス研究会 2019/3/16(土)

中四国九州圏の、AIR 事業に取り組む事業担当者を宇部に召集し、各地の事例を共有するとともに、相互のネットワークをつくります。

■ テーマ：AIR の役割と可能性についてく地域の未来とアーティストのかかわり>

#### 屋外展示 2019/3/12(火)～24(日)

ときわミュージアム周辺（ときわ公園内）

#### 森川穰「color field」

森川穰（現代美術家、第24回 UBE ビエンナーレ出品作家）と、市内の中学生約200名が共同制作した「color field」の屋外展示。桜の木の下に10,000枚の彩色された落ち葉を敷きつめる。



▲作品の中に入って、踏まれた落ち葉が混ざり合う様子を楽しむことができる。